

2014年1月28日
日本国土開発株式会社
株式会社日立システムズ

日本国土開発の「アンビックスソーラー富里」が完成し発電事業を開始 日立システムズが太陽光発電施設を建設し、日本国土開発の発電事業に参加

日本国土開発株式会社(代表取締役社長:朝倉 健夫、本社:東京都港区/以下、日本国土開発)と、株式会社日立システムズ(代表取締役 取締役社長:高橋 直也、本社:東京都品川区/以下、日立システムズ)は、日本国土開発が昨年4月に着工した千葉県富里市の太陽光発電所「アンビックスソーラー富里」が2014年1月24日に竣工し、同日から日本国土開発が太陽光発電事業を開始したことをお知らせします。なお、同発電所は日本国土開発の太陽光発電事業として初の稼働事例であり、発電した電力は、東京電力株式会社へ売電します。



完成した日本国土開発の太陽光発電所「アンビックスソーラー富里」

エネルギー資源が少ない日本では、太陽光や風力、バイオマス、太陽熱、地熱などの自然の力による再生可能エネルギーが注目されています。これらはエネルギー自給率の向上、地球温暖化対策、さらには将来の産業育成にもつながると期待されています。

日本国土開発では、スイカの名産地としても知られる千葉県富里市に社有地を有しており、地域社会貢献の観点から、整地した同地を「富里スイカロードレース」や「ドッグラン」などの地域イベントの場として提供してまいりました。

こうした中、日本国土開発では、エネルギー問題や環境問題に対応するため、再生可能エネルギーを活用した電力供給を富里の地から行いたいと考え、太陽光発電事業への参入を決定しました。2013年2月18日に経済産業省から再生可能エネルギー発電設備の設置に関する認可を受け、2013年4月に太陽光発電所の建設に着手しました。

一方で、長期的・安定的に太陽光発電による安定した電力を供給し続けるためには、自然災害や経年劣化、太陽光パネルの汚れなどの状況を把握し、障害に対応する必要があるため、太陽光発電所の管理業務が鍵になると考えておりました。

日立システムズは、社会イノベーション事業を手がける日立グループにおいて、情報・通信システム事業の中核企業です。日立システムズは、太陽光発電所の運営における問題に対応するため、インターネットを用いて発電状況をリモート監視する太陽光発電管理システムや、カスタマーエンジニアを活用したパネルの点検サービスなどを提供しています。また、電気工事業としての免許も有しており、株式会社日立製作所(以下、日立)が有する太陽光発電システムパッケージ「日立メガキット」を活用して発電施設建設者になることも可能であり、太陽光発電所の建設から運用、保守までワンストップでサポートできる体制が整っています。

こうした背景から、日本国土開発は、「アンビックスソーラー富里」における発電施設建設者として、日立システムズを指名し、日立の太陽光発電システムパッケージ「日立メガキット」を採用しました。本システムは、高効率の運転や待機電力の低減などを考慮して年間発電量を優先するため、事業採算性が高く、安定的に事業を続けることが可能です。

日本国土開発では、「アンビックスソーラー富里」の太陽光発電事業を通じて、お客様の保有不動産の有効活用、また本事業により培われる発電事業のノウハウを提案し、再生可能エネルギーの普及および自給エネルギーの確保における幅広いニーズに応えてまいります。

日立システムズでは、日本国土開発の「アンビックスソーラー富里」の管理運営サポートを通じて社会インフラを支えるとともに、本件を通じて得たノウハウを活用し、事業展開を加速します。

■富里太陽光発電所の概要

名称	アンビックスソーラー富里
場所	千葉県富里市根木名 1009 番1他
敷地面積	49,984 m ² (約 15,120 坪)
発電出力	1,996kW(パネル設置枚数 10,920 枚)
想定発電量	約 2,666MWh/年(一般家庭約 555 世帯分)
運転開始	2014 年 1 月 25 日稼働
事業期間	約 20 年間

■火入れ式の様子



火入れ式には、来賓として富里市相川市長が、日本国土開発からは工藤会長他が、また当事業の発電施設建設者である日立システムズからは高野執行役員他が出席し、テープカットを執り行いました。

■参考: 日本国土開発・富里メガソーラープロジェクトに関する事例 Web サイト

<http://www.hitachi-systems.com/special/megasolor/01/>

■日本国土開発について

日本国土開発株式会社は、「わが社はもっと豊かな社会づくりに貢献する」という企業理念のもと、人と自然のよりよい関係を追及し、快適な生活環境の実現へ向け行動の原点を「地球環境の改善と快適環境の創造」におき、あらゆる建設分野にチャレンジを続けています。

今般の東日本大震災における震災復興においても、弊社ならではの機動力を発揮し、土木・建築技術の更なる研鑽に努め、お客様に安心と満足を感じていただける高品質な作品を提供し、もっと豊かな社会づくりに貢献してまいります。

詳細は、<http://www.n-kokudo.co.jp/> をご覧ください。

■日立システムズについて

株式会社日立システムズは、幅広い業務システムの設計・構築サービス、強固なデータセンター基盤を活用したアウトソーシングサービス、全国約 300 か所のサービス拠点とコンタクトセンターによるお客さまに密着した高品質な運用・保守サービスを強みとする IT サービス企業です。日本の IT 黎明期から先駆的に取り組んできた IT サービスの実績・ノウハウを生かし、システムのコンサルティングから構築、導入、運用、保守まで、IT のライフサイクル全領域をカバーするワンストップサービスを提供しています。そして、IT の枠組みを超えてお客さまに新たな価値を創造し、お客さまからすべてを任せていただけるグローバルサービスカンパニーをめざしています。

詳細は、<http://www.hitachi-systems.com> をご覧ください。

■報道機関のお問い合わせ先

日本国土開発株式会社 経営企画室 広報担当：細谷

〒107-8466 東京都港区赤坂 4 丁目 9 番 9 号

TEL：03-5410-5720(直通) E-mail：jdc-pr@n-kokudo.co.jp

株式会社日立システムズ CSR 本部 コーポレート・コミュニケーション部 杉山、藤原

〒141-8672 東京都品川区大崎一丁目 2 番 1 号

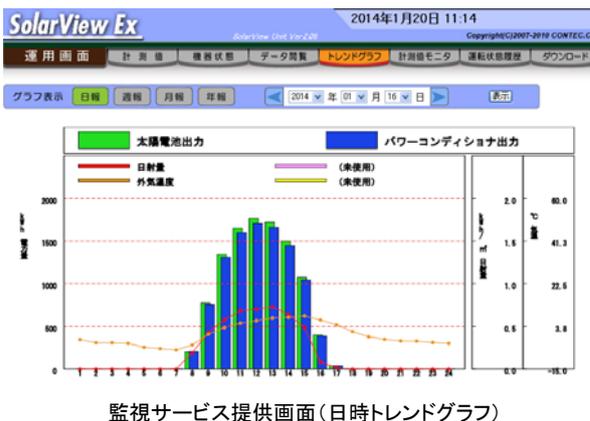
TEL：03-5435-5002(直通) E-mail：press.we@ml.hitachi-systems.com

以上

*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

[別紙]

■日立システムズの太陽光発電管理システム、保守・監視サービスのイメージ



監視サービス提供画面(運転状態履歴)

日付	時刻	発電量	パワコン	モード	モード内容	モード	モード内容
2014/01/17	07:23:42	99999	0004	01	正常運転	001	正常運転
2014/01/17	07:23:42	99999	0001	01	正常運転	001	正常運転
2014/01/17	07:23:36	99999	0002	01	正常運転	001	正常運転
2014/01/17	07:23:30	99999	0003	01	正常運転	001	正常運転
2014/01/17	07:03:42	99999	0004	02	待機運転	002	待機
2014/01/17	07:03:42	99999	0001	02	待機運転	002	待機
2014/01/17	07:03:36	99999	0004	02	待機運転	002	待機
2014/01/17	07:03:36	99999	0002	02	待機運転	002	待機
2014/01/17	07:03:30	99999	0003	02	待機運転	002	待機
2014/01/17	07:02:18	99999	0004	01	正常運転	001	正常運転
2014/01/17	07:02:18	99999	0001	01	正常運転	001	正常運転
2014/01/17	07:02:12	99999	0002	01	正常運転	001	正常運転
2014/01/17	07:02:06	99999	0003	01	正常運転	001	正常運転
2014/01/17	06:42:18	99999	0004	02	待機運転	002	待機
2014/01/17	06:42:18	99999	0001	02	待機運転	002	待機
2014/01/17	06:42:12	99999	0004	02	待機運転	002	待機
2014/01/17	06:42:12	99999	0002	02	待機運転	002	待機

■日立システムズの太陽光発電管理システムのWebサイト

日立システムズは、太陽光発電設備の発電状況やソーラーパネルの動作状況などを、インターネットを通じて監視可能な「太陽光発電管理システム」を提供しています。計測装置や、監視用サーバーなどの設定から導入までワンストップでサポートします。

http://www.hitachi-systems.com/solution/s108/solar_power/index.html